

## 8 「主体的な学び」を視点とした授業改善の実践



### 👉 こんな実践

児童が必要感や目的意識をもって取り組むことができるような活動を Main Activity として1時間の授業の中に位置付け、やり取りを何回も経験することによって、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養うことを目指した実践です。

実践学校 G 小学校

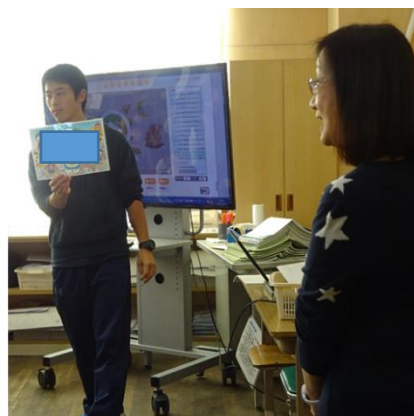
実践学年 4 学年

実践時期 10 月下旬

単元名 「Let's Try! 2 Unit 3 I like Mondays」

学習指導要領との関連： (2) 話すこと [やり取り] ウ

- 本単元では、曜日にかかわる表現を主体的に学ぶための手立てとして、児童の興味から曜日とテレビ番組を関連付け、「人気のテレビ番組ランキングをつくろう」を Lesson Goal に設定しました。担任は、児童の関心をさらに高めるために、番組に関わるイラストを提示しながらクイズ形式で、“What day is it today?”と児童に質問にしています。児童は積極的に曜日を答えていました。また、そのあとの“Do you like ○○?”と教師が質問すると、簡単な英語を使って楽しいやり取りが続きました。



### ここがポイント!

- 児童が興味・関心を示す題材を取り扱い、児童がやってみたいと思うような活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を外国語活動で養えるようにしていくことが大切です。

- Main Activity では、言い出しの表現として“**What day do you like?**”を使い、児童は好きな曜日と番組についてやり取りをはじめました。A児は、他の児童があまり見ないドラマが好きだということを伝えたいと考えていました。しかし、“**I like Friday. I like □□.**”と伝えても、なかなか分かってもらえず、「ドラマだよ」と日本語で説明を加えていました。なんとか英語で伝えたいと考えたA児は、何回か対話を繰り返すうちに、“**I like drama, □□.**”と「ドラマの□□」と工夫して表現することができました。その表現を聞いた相手のB児は、“**Oh, I see.**”と反応し、それを聞いたA児はとても満足そうに笑顔を浮かべていました。



この場面での、表現を工夫したA児や、文脈や背景を考えて相手の言っていることを理解しようとしていたB児の姿は、相手に配慮し、情報を整理しながら考えを形成し再構築する見方・考え方を働かせていた姿と捉えることができます。



### ここがポイント！

- ・児童にとって身近な話題で自分の考えや気持ちなどについて、友達とのやり取りを通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験できるようにすることが大切です。
- ・児童が「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせてコミュニケーションを図ることができるようにすることが大切です。

### まとめ

- ・児童の興味・関心に応じた単元（題材）を設定し、身近な話題で自分の考えや気持ちなどについてのやり取りを繰り返し行う時間を確保することで、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問したり、質問に答えたりしようとする姿が見られました。このような授業を行うことは、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養うことにつながっていきます。